

会議録

会議の名称	令和3年度第1回新城市市民自治会議
開催日時	令和3年4月28日（水）午後6時30分から
開催場所	新城市役所本庁舎3階災害対策本部室
会議の次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状交付 2 自己紹介 3 会長・副会長の選任 4 諮問書交付 5 市長あいさつ 6 会長あいさつ 7 議題（(1)及び(2)については関連するため同時に実施） <ol style="list-style-type: none"> (1) 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会の開催予定日、開催予定場所及び説明会について (2) 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会公募委員審査委員会について (3) 新城市自治基本条例に定める地域自治区制度の新たな可能性について 8 報告 第7期若者議会（第1回）について 9 その他
出席委員	鈴木誠会長 前澤このみ副会長 今泉仁委員 鈴木雅晴委員 清水良文委員 熊谷則之委員 齊藤美代子委員 加藤稜唯委員 鳥居愛委員 山本青空委員
欠席委員	太田幸江委員 浅井架那子委員

1 委嘱状交付

鈴木誠委員、鈴木雅晴委員、太田幸江委員、熊谷則之委員、齊藤美代子委員、浅井架那子委員及び山本青空委員の7名が新たに就任し、代表して山本委員に委嘱状を交付した。

2 自己紹介

今年度1回目であるため、名簿順に自己紹介を行った。

3 会長・副会長の選任

会長には、推薦により鈴木誠委員が選任され、会長の指名により前澤このみ委員が副会長に選任された。

4 諮問書交付

市長から鈴木会長に諮問書が交付された。

5 市長あいさつ

皆さんお集まりいただきありがとうございます。

市民自治会議においては、平成25年度からまちづくりのエンジン役として、様々な議論を続けていただきました。

まちづくりの基本的なルールを定めた自治基本条例は、多くの自治体で制定されましたが、一部では形骸化したり、ただの文面で終わったりしています。本市においては、市民自治会議に常に斬新な視点をもって、情勢に応じた様々な課題に真摯に取り組んでいただくことにより、地域自治区制度、若者議会、女性議会、中学生議会等多くの展開をして参りました。そして、昨年6月には、市民自治会議の中で、本当に幅広い議論を積み重ねて諮問事項になっている新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会条例の制定まで行き着くことができました。

公開政策討論会については、全国的にも大きな注目を集めており、10月31日が市長選挙の執行予定となっていますが、条例制定後最初の実施となります。

これまで住民主役のまちづくりを標榜してきた新城市の市民自治がもう一つ新しいステージに上っていくための大きな課題だろうとっておりますので、市民自治会議の皆さんには、そうした点も踏まえて、より良い実施のため知恵を絞っていただくとともに、幅広い見地・様々な角度から、問題点を整理をしていただければと思います。

2つ目の諮問事項は、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響で十分な答申にいたらなかったものです。今年度は、再度諮問をしております。

地域自治区制度も地域ごとの特性を持ちながら、10地区全てで地域計画がそろ

いました。それに基づいて、地域住民の皆さんが自ら地域の課題・解決策を一緒になって考え、実行していく、そのようなサイクルができ上がってきた一方で、地域協議会の中にも、若者議会の経験をした委員が入り、世代のリレーができるまちという、まちづくりの大きな目標にも大きく貢献をしていただいています。

この地域自治区制度をさらにブラッシュアップしていく、より良いものにしていくため、議論をしていただければと思っております。

コロナがありますので、高齢者から開始するワクチン接種のスピード、第4波、変異株の状況等にもより、公開政策討論会開催時の状況は予測が付きませんが、公開政策討論会により、市民の代表を決める選挙に新しい風を、市民自治の新しい風を吹き込むように努力をしていかなければならないなと気を引き締めてるところです。色々な角度から自由な意見を寄せていただいて、工夫を凝らせていければありがたいというふうに思います。

限られた時間ではありますし、選挙という一般の方からは敬遠をしたいようなテーマではありますが、市民自治会議の中で議論をしていただいたことは、そうした選挙の場ということ以上の、市民の知る権利を保障し、そしてまちづくりにより積極的に関与していく、そういう場面として捉え、より多くの市民の方に、闊達に、自由に、あるいは楽しく、気軽に参加できるような機会にさせていただけると、なおさらありがたいというふうに思います。

市民自治会議の中で新城市民の自治の力を大きく、さらにエネルギーを高めていただけるようお願いをし、また、諮問事項への答申をお願い申し上げまして、第1回の会議に当たっての挨拶としたいと思います。

6 会長あいさつ

会長に選任されました鈴木誠です。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、公開政策討論会、そして地域自治区のあり方について市民自治会議において研究し、答申をすることになっておりますが、どういうバックグラウンドをもって議論していったら良いのか実は最近常々考えておりまして、まだ答えが出ておりませんが、一つの大きなキーワードは、2015年のパリ協定だと思っております。

パリ協定は、産業革命の頃からの温度上昇を2度まで、目標としては1.5度までにしようというものです。既に産業革命の頃と比べると1度気温は上昇しましたので、目標にはあと0.5度しか余裕がありません。実は昨年、いよいよこのパリ協定を実現するため、温室効果ガスを減らしていくための目標の設定、そして目標を具現化・具体化していくための検討、産業で技術革新・研究、もっと具体的にいうと化石燃料にかわるエネルギーを作って運用していくことが始められています。

皆さんも、最近色々な企業・政府が2050年に向けて、二酸化炭素を0あるい

は50%にするという話をよく聞かれると思いますが、あれはただの社会貢献ではなく、世界に約束したことです。その約束を果たすということが日本では大前提になって、その中で、私たちは生活の仕方、エネルギーの使い方あるいはまちづくりの仕方を変えていかなければなりません。そうすると、あと30年ほどの間に車は化石燃料一切使わない形に変わるのかもしれませんが。水素を使うものにも変わるかもしれませんが。さらには、私たちが日頃で使っている、例えばエアコン等も太陽光を使って完全に受給していく社会に変わるかもしれません。

どのような社会を想定するか、これは想像力がとても大事になってくるだろうと私は思っています。想像力をしっかりと持ってこれからの社会を考えて、今、まちづくりを進めていくということが私はすごく大事になってくるのではないかと考えています。具体的な数字だけではなく、もっと私たちが日常の感覚を研ぎ澄まして温室効果ガスを生み出さない、そういう形に変えていかなければなりません。そのときには、従来の生活を維持したエネルギーを多く使う社会を前提とする化石燃料から自然エネルギーへの転換なのか、エネルギーを多用しないで、なるべく地域の中で、再生産やその中に楽しみや面白みを生み出して、地球環境に配慮・貢献としていくのか。どちらを選ぶのか、これを皆さんにもお考えいただかなければいけないことだと思いますけれども、この新城のまちづくりをどのような前提で取り組んでいくのか、多くのエネルギーを使ってもそれらを自然エネルギーとして進めていくまちづくりか、エネルギーを極力節約して生活の仕方を変えていくのか。こういったことを想像力を働かせて、イメージを持ちながら、これからのまちづくりをしていかなければいけないだろうというふうに思います。

今回の市民自治会議の諮問の内容は、それぞれ非常に分かりやすいテーマではありますが、そのバックグラウンドをどういうふうに持つか、今回委員になられた皆さんそれぞれがしっかりとお考えなっているとありますが、さらにここで議論を深めながら、その前提を共有し、新城のまちづくりを具体的に進めていく、そういう政策づくりに一緒に取り組めたらと思います。随分大掛かりな話をしましたけれども、日本ではこのような話は突拍子もないこととされますが、世界ではこういう議論は常に当たり前にあって、その前提で小さな・具体的なことを議論して、しっかりとした見通しを作りながら、具体的なものとしていく。それを今年度は力を込めてやっていきたいと思っています。

少し長くなりましたけれども挨拶に代えさせていただきます。これからよろしくお願ひします。

7 議題

- (1) 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会の開催予定日、開催予定場所及び説明会について並びに新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会

公募委員審査委員会についての2つの議題について

会長	<p>(1)の議題と(2)の議題は関連しますので、一緒に行います。事務局から説明をしてください。</p>
事務局	<p>新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会は、これまでJC等が開催してきた討論会を、市民の知る権利・知る機会を作出するため、市が主催して実施するものです。この公開政策討論会を開催することにより、市長になろうとする人の人柄、考え方、実施しようとしていること等の理解を深めることができます。また、公開政策討論会に参加することで、私たちの暮らしへの影響、まちづくりへの関わり方、参加の仕方等について、私たちが自ら考える機会にもなります。今年度は、条例に基づいて、実施する段階となりました。9月23日が任期満了日の50日前ということになり、選挙の告示日の前日が10月23日です。この9月23日から10月23日までの中で、公開政策討論会を開催するということになります。</p> <p>公開政策討論会を実施するための手続として、市民自治会議の意見を聴き、立候補予定者への説明会の開催日時や場所、公開政策討論会の開催予定日や開催予定場所等を決定するという事になっております。これが諮問の内容です。</p> <p>公開政策討論会の具体的な方法等については、新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会が検討を行います。実行委員会では、諮問事項である立候補予定者説明会、開催予定日等を含めて公開政策討論会に必要な様々な事項を、実際に討論会の経験をされた方達の力を借りて検討します。その結果を市民自治会議の方に示し、市民自治会議でも検討し、諮問事項については答申をしていただくという流れです。</p> <p>広報しんしろ「ほのか」の4月号で実行委員会の委員の募集をしました。一般枠5名以内・経験枠10名以内です。この経験枠というのは、公開討論会、自治基本条例に基づく市民自治会議、若者議会等を経験されている方ということです。</p> <p>実行委員会委員を審査により選定する必要がありますが、本日の議題(2)は、それについてです。実行委員会委員の審査については、市民自治会議の5名の委員の方に行っていただくこととなっております。5名の構成については、昨年度の市民自治会議での結果、会長、副会長及び会長が指名する3名の委員で組織することとなっております。</p>

会長	今の説明について確認したいこと等ありますか。
委員	市民自治会議の関与の仕方が、実行委員会が示したのを見るだけで終わってしまうような感覚を受けています。市民自治会議が、実行委員会が検討した内容にどこまで意見していくのか、入り過ぎてもいけませんし、初めて実施されるものなので、一緒に実施しているといえるその関与の度合いが難しいです。本日は結構ですけども、教えていただければと思います。よろしくお願いします。
会長	ほかの方はいかがでしょうか。 市長はいかがですか。
市長	<p>公開政策討論会を実際に運用するのは、実行委員会ということになり、その実行委員会のメンバーを公募しました。そしてこの市民自治会議で、審査委員を出して決めてもらいます。</p> <p>この実行委員会には、立候補予定者が推薦する方も入ることになっています。その方たちが入り、より具体的な運営方法を決めていくこととなります。4年前のことから考えると日時、場所等も大切ですが、一番の肝になる問題は、テーマと討論の方法です。しかし、その前にまずは日時、場所等を決めなければいけませんので、その委員を決めるのが、最初のステップです。</p> <p>先程、実行委員会と市民自治会議の協力関係についてお話がありましたが、それについてはそのとおりだと思います。</p> <p>公職選挙法というものに抵触してはいけないという大きな前提があって、また、選挙の公平性・中立性を担保していかなければいけません。皆さんにはそういった配慮を踏まえた運営をお願いすることになります。そういったことから議論が行ったり来たりすることもあるでしょうし、いずれは立候補予定者の推薦する方も入ってきてまた議論がなされる。そのような仕組みです。</p> <p>現在は、委員の申込みがされている段階ですが、これからは一步一步確かめながら進めてほしいと思います。そうしなければ議論が戻ってしまったりしますので。ぜひこの会議の場で、疑問に思うことや引っかかること等があれば、それがすごく大切な論点になる場合がありますので、どんなことでも御指摘いただきたいなと思います。</p>
会長	<p>ポイントを押さえた説明をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今市長から話がありましたように、実行委員会には2つのステップがあります。2つ目のステップというのは、立候補予定者の陣営</p>

	<p>からの推薦枠の方たちが参加する段階です。この段階が実は非常に重たく、大切な部分です。実際に実施するための大事な話し合いが始まることとなります。そのための準備を行っていく段階として公募委員が参加することとなります。</p> <p>その選考をこれからやっていきたいと思います。</p> <p>前年度の市民自治会議でその方法について話し合いをして決めました。前年度の市民自治会議の中で承認をいただいたもので、それにしたがって5名で行います。会長と副会長と3名の委員ですが、その3名を選考します。</p> <p>私と副会長の話し合いのもとで決めた案を提案して、承認をいただきたいと思います。</p> <p>まず、今泉委員です。前年度の市民自治会議の中で条例検討の一番重要な核のところに御参加いただいて。また、代表区長ということもありますのでお願いしたいです。</p> <p>次は、若者枠から選びたいということで、これは私たちの強い希望です。加藤委員にお願いをしたいと思います。加藤委員も昨年度の市民自治会議でこの条例の検討を行いましたので、お願いをしたいと思います。</p> <p>もう1名は、地域性ということを考えて、齊藤委員にお願いできたらと思います。以前に自治振興事務所の所長もされており、地方自治制度について体系的にお詳しい方でもありますので、こちらの3名としたいと思います。</p> <p>審査による実行委員会の委員の案を、次回、皆さんに御審議いただこうと考えております。そして皆さんと一緒に決定をするということにしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>それでは、よろしいですね。</p> <p>審査される委員の方は、この会議の後残っていただきたいと思います。</p>
--	--

(3) 新城市自治基本条例に定める地域自治区制度の新たな可能性について

<p>会長</p>	<p>次に新城市自治基本条例に定める地域自治区制度の新たな可能性について事務局から説明をしてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和2年度にも検討を行いました。コロナ禍でのことで十分な検討ができませんでしたので、本年度も引き続き、諮問いたしました。</p>

	<p>昨年度の市民自治会議では、地域自治区制度の新たな可能性について検討するに当たり、地方自治法に基づく地域自治区制度が全国に、新城を除いて12の自治体がありますが、そちらにアンケート調査を実施いたしました。資料として添付しております地域協議会委員構成経過一覧を、昨年度の市民自治会議で情報共有したところ、他の自治体の地域自治区の委員構成・会議の回数等はどのようなものか疑問が生じ、アンケート調査を行ったものです。</p> <p>それにより、委員に若い世代がいること、会議の回数が多いこと等が新城市の特徴であることを知ることができました。課題としては、他の自治体の地域協議会と同様に協議会の委員になろうとする人材が不足しており、また、地域協議会と連携して地域でまちづくり活動に取り組む人材の育成・発掘が遅れていること等があることを把握することができました。</p> <p>新城市を含めた13自治体のアンケートの結果は、資料として添付しておりますので、御確認いただければと思います。また、追加質問も添付しております。こちらもまとめてありますので、また御確認ください。</p> <p>昨年度の答申にありますように、今年度はこの調査の結果を参考に、地域協議会委員との意見交換や意識調査を新たに加えて、活動面と運営面から本市地域自治区制度の新たな可能性について、検討していきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>一度皆さんに目を通していただかないと、分かりづらいところも多いかと思います。</p> <p>昨年のコロナ禍の中で十分な調査ができませんでしたが、他の自治体との比較の中で、特徴的な点が幾つもあるということがわかりました。新城は後発の地域自治区ですが、先発の地域自治区の中に色々なヒントがあるということがわかりました。</p> <p>特に、先程お話があったように、市民自治会議には若者枠の方がおられますが、新城は、若者議会、市民まちづくり集会、女性議会等自治基本条例に基づく様々な市民参加のまちづくり活動を経験した10代が、地域協議会の委員になって活動しているということが分かり、これは他の自治体には非常に少ない事例です。町内会・連合自治会の経験者、消防団の団長経験者等色々な委員を経験されて、そしてお役として年齢としては40代以上の方が委員となるケ</p>

	<p>ースがありますが、新城では若い方、女性、NPO活動をされている方たちが、手を挙げて委員になるケースがあります。地縁とテーマ型がうまく融和してこの地域協議会の委員を構成しようとしていくという面があります。一方で、このような活動の先に何を見出すかはっきりしないところもありました。そういったこととお読みいただき、皆さんの意見をこれから出していただき、新しい皆さんと一緒に再度検討して、調査研究を始めていきたいと思えます。昨年度のことを繰り返すのではなく、新しい委員の皆さんの意見を大事にさせていただきたいと思えます。特に、昨年度の答申の留意点は、はっきりさせないといけません。新城らしい地域自治区を作るために検討を深めなければならないことが記載されておりますので、御検討いただきたいと思えます。</p> <p>実質的な調査や審議は次回以降でしていきたいと思えます。</p> <p>御質問等ありませんか。</p>
--	--

8 報告

第7期若者議会（第1回）について

内 容：所信表明

日 時：5月7日（金）19時から

場 所：東庁舎3階議場

委員構成：若者議会委員 男性10名・女性6名

市外委員 男性2名・女性3名

メンター市民 男性6名・女性3名

9 その他

次回の日程は、新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会公募委員の審査手続次第であるため、調整後、書面でお知らせすることとなった。

閉会